　（様式10）

GXに係る取組申告書

事業者名：　　●●●●株式会社

代表者等：

***※FS調査フェーズ、インキュベーション研究開発フェーズは作成不要です。なお、インキュベーション研究開発の場合は実用化開発フェーズもしくは実証開発フェーズに移行する際に作成してください。  
※青字部分は、留意事項です。提出の際は、青字部分のみを削除の上、提出ください。***

***※提案者（共同提案者含む）として位置づけられる全ての事業者について、１事業者毎に１枚作成してください。ただし、委託先や共同研究先、大学等（国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校）および国立研究開発法人等（国立研究開発法人、独立行政法人および地方独立行政法人）に該当する機関は、本申告書の提出は不要です。***

　当社は、「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム／・・・／・・・・」（以下、「本事業」という。）」の実施にあたっては以下の条件を遵守するとともに、現在のGXに係る取組の実施状況について、虚偽なく適切に報告していることを誓約します。

また、本事業の採択審査にあたって、本申告書の記載内容を経済産業省、NEDOおよび本事業の審査を行う関係者が活用することについて同意し、交付決定後から事業終了後5年間、本申告書の記載内容に関するフォローアップを受けることについても同意します。

【実施にあたっての条件】***←　本条件の記載は、削除せず残してください。***

＊以下AおよびBの温室効果ガス排出削減のための取組を実施する必要があります。ただし、温暖化対策法における算定報告制度に基づく2020年度CO2排出量が20万ｔ未満の企業および中小企業基本法に規定する中小企業に該当する企業については、その他の温室効果ガスの排出削減のための取組の提出をもって、これらに替えることができます。

A：2025年度以前分の排出実績に関する実施内容

以下（ⅰ）、（ⅱ）の温室効果ガス排出削減のための取組を実施することが必要です。

なお、GXリーグに参加する場合は、これらの取組を実施するものとみなします。

（ⅰ）提案技術に関して、国内におけるScope1（事業者自ら排出）・Scope2（他社から供給された電気・熱・蒸気の使用）に関するCO2排出削減目標を販売開始から3年後の時点および・2030年度について設定し、事業実施期間が含まれる年度分の排出実績および目標達成に向けた進捗状況を、第三者検証を実施のうえ、毎年報告・公表してください。

（注）第三者検証については、「GXリーグ第三者検証ガイドライン」に則ること。

（ⅱ）（ⅰ）で掲げた目標を達成できない場合にはJクレジット又はJCMその他国内の温室効果ガス排出削減に貢献する適格クレジットを調達する、又は、未達理由を報告・公表してください。

B：2026年度以降分の排出実績に関する実施内容

2026年度以降分の排出実績に関しても、Aと同様の内容を実施すること。ただし、現在検討が進められている2026年度以降のGXリーグ等の内容次第で、2026年度以降分の排出実績におけるAの（ⅰ）（ⅱ）相当の要件については変更となる可能性があることに注意すること。

＊本事業を通じて自社の経営革新にコミットしていけるよう、計画を示してください。

＊賃上げ等、必要な人材の確保に向けた取組を進めてください。

***※（参考）我が国のGX実現に向けて　実施にあたる条件の考え方（P29）***

***https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gx\_jikkou\_kaigi/dai10/siryou1.pdf***

【GXに係る取組の実施状況】

1. GXリーグへの参画状況

***いずれかにチェックしてください。***

***GXリーグHP ： https://gx-league.go.jp/***

参画　　***⇒該当する場合、２.および５.のみ記載してください。***

未参画

1. 情報管理体制

技術流出防止措置を含む適切な情報管理体制を整備しているか

整備済み

未整備　→整備予定時期：○○年〇月

***⇒未整備の場合、上記「整備予定時期」に記入してください。***

1. 事業者の種別

***下記項目に該当する場合は、チェックしてください。***

温暖化対策法における算定報告制度に基づく2020年度CO2排出量が20万ｔ未満の企業

中小企業基本法に規定する中小企業に該当する企業

***⇒上記いずれかに該当する場合、５.および６．を記載（４．は記載不要）。***

上記以外

***⇒該当する場合、４．および５．を記載（６．は記載不要）。***

1. 現在のGXに係る取組の実施状況

提案技術に関して、国内におけるScope1（事業者自ら排出）・Scope2（他社から供給された電気・熱・蒸気の使用）に関する排出削減目標について、販売開始から3年後および2030 年度時点において、次のとおり計画しています。計算根拠については、提案書ファイルBの「様式9」シートに記載します。

|  |
| --- |
| ***・毎年の公表時期について、「(ⅰ)の目標は○年○月、(ⅰ)の実績は毎年○月、（ⅱ）は○年○月(もしくは毎年○月)」、等記載してください。***  ***・すでに公表している場合には、自社ホームページの掲載リンク等をお示しください。「(ⅰ)の目標は自社ホームページに公開済み」URL・・・・・・***  ***･公表方法について「自社ホームページでの公表を予定」「パンフレットなど配布物での公表を予定」等記載してください。*** |

***※Scope1・Scope2の詳細は、以下URLをご参考ください。***

***https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\_chain/gvc/estimate\_02.html***

1. 経営革新へのコミットメントについて

本事業を通じて自社の経営革新にコミットしていけるよう、次の通り計画しています。

|  |
| --- |
| ***以下の内容について記載ください。***  ***・カーボンニュートラルに関わる産業構造変革の仮説や自社の事業構造転換の方針を社内外に示し、その中に当該事業を位置づけるか***  ***・社内外の幅広いステークホルダーに対して、当該事業の重要性をメッセージとして発信するか***  ***・事業の進捗を判断するにあたり、社内外から幅広い意見を取り入れること***  ***・本事業への人材・設備・資金の投入方針（どのような人材を採用または配置転換により何名程度確保するか、既存・新規の設備・土地をどのように確保・活用するか）***  ***・事業の進捗や環境変化を踏まえ、事業体制や手法等の見直し、追加的な資源投入等を行う準備・体制（現場への権限委譲等）があるか*** |

1. 温室効果ガスの排出削減のためのその他の取組

|  |
| --- |
| ***GXリーグに参画しておらず、また温暖化対策法における算定報告制度に基づく2020年度CO2排出量が20万ｔ未満の企業又は中小企業基本法に規定する中小企業に該当する企業については、本欄に温室効果ガスの排出削減に係る具体的な取組について記載してください。*** |

**署名欄**

***経営層の方が直筆で記入してください。***

記入日：　　　　　年　　　　月　　　　　日

事業者名：

役職名：

氏名：